

	<p>桔梗が丘自治連合協議会</p> <p>平成23年度 第5回 理事会 議事録</p>
場 所	桔梗が丘公民館・202号室
日 時	平成23年9月24日(土) 9:30~11:50
出 席 者	出席者・辻森、大垣、梅本、河合、上田、阪本、野邊、廣岡、竹原、吉野、加納、森永、山中、松村、東監事、谷川地域担当員、中森地域担当員。 欠席者・高槻、田合監事。
<p>決議事項</p> <p>1. 議事録署名人</p> <p>2. 平成23年度ききょう健康まつりの実施計画案及び予算案の件</p>	<p>大垣副会長が司会をつとめ会議が始まった。</p> <p>辻森会長の開会挨拶の要旨。</p> <p>・先般の台風接近に際しては、各方面の関係者、特に消防団桔梗が丘班員の方は警戒出動を頂いたこと、大きな損害もなく済んだことに感謝とお礼を申し上げる。</p> <p>・10月から11月にかけて大きな行事が続くが、体調には気を付けて、行事活動を進めて頂きたい。</p> <p>引き続き辻森会長が議長となり審議が始まった。</p> <p>本会議の議事録署名人に竹原啓子氏、吉野孝司氏の2氏を指名することに決した。</p> <p>山中事務局長(高槻健康推進部会長欠席の為)から、平成23年度ききょう健康まつりの実施計画案及び予算案について、別添資料に基き概ね次のように述べた。</p> <p>本年度はウォーキングと健康まつりを別々の日に実施する。</p> <p>・ウォーキング：平成23年10月29日(土)に東青山四季の里で近鉄ハイキングコースと午後芝生広場でゲームを楽しむ。交通費・昼食代・駐車場代は参加者の負担。参加賞費、スタッフの駐車場代を予算化した。予算額計15,000円</p> <p>・健康まつり：平成23年11月6日(日)公民館全館：時間は12:00~16:00、実施の内容は昨年と同様になる予定でつぎのとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 骨を強くしよう ○ 健康な歯にしよう ○ 健康な方の体力測定コーナー ○ 高齢度チェック ○ カタログ情報コーナー ○ たのしいききょう健康体操 ○ 食べ物ビンゴ大会

を予定している。予算額：合計385,000円。従って予算総額は400,000円となると述べた。尚地域への告知は10月の回覧時にチラシを各戸配布、ポスターの掲示等を通じて行う予定。

以上の提案に対して、出席者からは特に発言は無く、「ききょう健康まつり」の実施及び予算案は全員異議無く承認された。

報告事項

1. 平成23年度桔梗が丘夏まつりの決算について

松村事務局次長から、平成23年度桔梗が丘夏まつりの決算について、別添資料に基き概ね次のような報告があった。

収入の部(単位:円)	決算額	予算対比
協賛金	978,507	158,507
繰出金	739,218	△160,782
雑収入	23,028	△6,972
合計	1,740,753	△9,247

尚、協賛金の合計額1,078,507円(140件)の内、10万円を敬老の日の行事へ配分した。

支出の部(単位:円)	決算額	予算対比
事務経費	98,182	△21,818
食料費	91,825	△8,175
舞台・照明費	677,670	△22,330
イベント費	23,000	3,000
広報費	82,660	△17,340
警備費	139,776	△10,224
シャトルバス代	105,420	△4,580
縁日費	522,220	72,220
合計	1,740,753	△9,247

縁日費が予算オーバーとなったのは、模擬店引換券を昨年の200円から300円に引き上げたのが要因。因みに模擬店引換券は3498枚が換金された。各科目の支出明細は資料に記載されている。

廣岡住民交流部会長から、舞台・照明費が昨年比増となっているが、例年照明が暗いとの意見があったので、今年は発電機を1台増やした為と述べた。

以上で「桔梗夏まつり」の報告は了承された。

2. 平成23年度公民館夏期講座の結果について

森永公民館長から、平成23年度公民館夏期講座の結果について、別添資料に基き概ね次のような報告があった。

前回は一部報告したが、より詳しく報告する。

・受講証発行数は142名。各回の参加者は次のとおり。一回目105名、二回目86名、三回目115名、四回目79名で、三回目の江川紹子氏が1番多かったことになる。

・参加者は60代、70代が中心(約8割)であった。

・今後(次年度以降)の開講については、参加者のアンケートを通じての希望を参考に展開して行きたいと考えている。(郷土の歴史、福祉・高齢者関連、音楽関係、)又「健康・食関係」及び「環境関係」は協議会の事業として取り組むことも良いと思う。

議長は、以上の報告について、出席者の意見を求めた。

Q. 開設する講座の希望調査する場合には、より幅広い層の意見を取り入れる方策を検討してはどうか。

A. そのとおりと考えているので、今後の検討して行きたい。(特に40～50代の方の参加を増やすために。)

以上の他に特に意見は無く、報告は了承された。

3. 名張市地域づくり代表者会議の報告

<地域づくり組織の活動支援について>

辻森会長から、8月30日開催された地域づくり代表者会議で名張市から概略の説明のあった「地域づくり組織の活動支援について」別添資料に基き概ね次のような報告があった。

基本的な骨子は次の3点

①ゆめづくり地域予算制度の拡充

②(仮称)地域づくり大学の設立

③コミュニティビジネス勉強会

この内、今回重点的に報告のあったのは①ゆめづくり地域予算制度の拡充について。

既存の用途自由なゆめづくり交付金(約7千万円)に加えて、(仮称)ゆめづくり協働事業提案制度を確立し、これまでのものと一体化することで事業の拡充を図る。財源としては平成25年度に、新規事業(地域からの協働事業提案)で約3千万円(一地域あたり200万円)を目標とする。既存事業については、平成22年度に試行的に整理を行った協働事業一覧表を用いて、平成23年度も引き続き、地域ごとの協働事業の実績についての分析を行うことになる。一方、地域担当職員は地域の窓口、行政側との橋渡しの役割が今以上に求められることになる。

桔梗が丘地区の「地域ビジョン」は、本年10月を目途に策定が進んでいる。

各地域で策定された「地域ビジョン」の実施にあたっては、先程のゆめづくり交付金・新規事業(地域からの協働事業提案)の約3千万円を財源とする事となる。具体的に事業活動を開始するにあたっては、自治連合会、事業部会がそれぞれ担当することとなる。

こうした場合、課題となってくるのは既存のゆめづくり交付金を基にしている事業と新規の事業との整合性をどの様に図っていくかということになる。

具体的な実施は平成25年度からの予定。その具体的な取扱いスケジュールは資料2に記載されている。配付した資料は一度お読み頂きたい。

<p>4. 平成23年度日赤社資並びに名張市福祉協議会会費の交付金送付について</p>	<p>地域担当者の方に、行政側から地域への説明会を開催していただくよう働きかけて欲しいとの要望が出された。</p> <p>山中事務局長から、名張市社会福祉協議会から、平成23年度日赤社資並びに名張市社会福祉協議会会費の交付金が9月28日に交付されることになった。</p> <p>交付金の総額は資料に記載されているとおり、日赤社資が132,880円、社協会費配分金が634,270円となっている。この内、日赤社資132,880円は各自治会(区)に10月1日以降に配分させていただく事になっている。</p> <p>社協会費配分金の634,270円は、桔梗が丘地区の社会福祉事業に充てることになっているので、ご了承頂きたいと述べた。</p> <p>辻森会長から、社協会費の配分金は募集金額の実績額によって変化するので、出来るだけ多く集めていただくよう各自治会・区にお願いをしたと述べた。</p>
<p>5. 委員会・部会報告</p>	<p><総務委員会></p> <p>大垣副会長(総務委員長)から、「福祉先進国の福祉内容に関する講演会」を10月2日(日)13時30分から開催する。詳細は次のとおりですが、皆様のご出席をお願いすると述べた。</p> <p style="text-align: center;">老後・福祉についての講演会 「福祉先進国における福祉の現状」 講師 皇學館大学教授：守本友美氏</p> <p><企画運営委員会></p> <p>阪本企画運営委員長から、「地域ビジョン」策定について、別添資料のとおり最終案をまとめるところまで進んでいると述べ、概ね次のような報告があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前半部分の桔梗が丘地区が目指す「基本理念」及び“ほっとまち桔梗”憲章の制定といった所は前回のまま変更点は無い。 ・ 施策の基本的方向(基本計画)6項目の“ほっとまち”(元気・賑わい、安心・安全、生きがい・健康、緑・環境、子ども・未来、自律・規範)構想にそれぞれ具体的施策を体系付けた。詳細は資料参照。 ・ 残りの作業は「ほっとまち推進プロジェクト事業」について具体的に表現する事と、地域ビジョン推進の方策及び体制について言及すること。 ・ 資料編には、取り組むべき施策や事業の一覧、桔梗が丘の人口推移、アンケート結果及び考察、地域ビジョン策定までの経緯をまとめる。 <p>以上の報告の後、今後の予定について、10月2日(日)の最終案決定後、10月15日(土)開催の自治連合会及び29日(土)の定例理事会に於いて承認をいただきたいと考えていると述べた。</p> <p>両定例会の開催前に、各自治会(区)長及び理事の方には事前に最終案を配布したいと思う。10月15日過ぎに、評議員への配付と地区回覧、そして理事会の承認後の10月30日(日)に住民説明会の開催、11月19日(土)臨時総会</p>

を開催し、最終的に承認をいただきたいと考えていると述べた。

事務局から、今後のスケジュールについて確認があり、10月2日(日)の最終案決定後に住民説明会の開催告知の回覧を早急に行う。又「地域ビジョン最終案」の説明資料は事務局で作成することになった。

引き続き、議長は出席者の意見を求めた。

・10月29日の定例理事会の翌日に住民説明会の開催はどんなものか。出来れば理事会早めてはどうか。

・意見交換後、理事会は10月16日(日)に開催することが了承された。

・それ以外の予定はそのまま進行。

<その他の意見交換>

・「まちづくり」と「街づくり」の両方が使われているが、何か意味はあるのか。

・方向付けはひらがなで(幅が広い)、施策は漢字にしている。(具体的)として
いる。表現はプロジェクトチームの判断に任せることになった。

・この地域ビジョンが具体的にスタートした時、その施策を担当する部門を設置
することを念頭に置いておかねばならない。

・桔梗が丘まちづくりのシンボルマーク“ほっとまち桔梗が丘”を全面に出して
使用していくこと。(桔梗が丘自治連合会、桔梗が丘自治連合協議会等の名称とは
切り離して使うことも良い)

<広報委員会>

野邊広報委員長からは、概ね次のような報告があった。

前回報告の通り、名張市広報誌の10月9日発行分に掲載されることになって
いる市内15地区の地域づくり組織の活動紹介記事の最終案を配布してあるので
ご確認を願いたい。

当協議会は教育文化部会の「こころの思い発表会」(本年度は10月22日(土)
実施)を取り上げている。

次回の「ききょう通信」の発行は、委員会で検討の結果11月発行予定で進め
て行く事にした。その理由は「地域ビジョン」の進捗状況に鑑みた。その後は新
年1月の発行の予定。

<健康推進部会>

高槻健康推進部会長が欠席のため、大垣副会長(総務委員長)から変わって報
告があった。

10月1日(土)14時から、「ききょう健康講座・大腸がんを知る」を開催する。

講師は三重大学医学部附属病院消化器外科：井上靖浩医師。

こちらも桔梗が丘地区まちの保健室及び名張市健康支援室(保健センター)の
後援のもとに実施する。

<教育文化部会>

竹原教育文化部会長から、部会活動について別添資料に基き概ね次のような報告があった。

- ・ 9月15日(木)定例部会を開催して、本年度の「桔” ずセミナー」及び夏まつりの反省点を検討した。詳細を資料に記載してある。全講座とも参加した子ども達が良く頑張ってやれた。太鼓のみ少し反省点が有ったが、来年度も引き続き実施したい。
- ・ 10月22日(土)公民館展に「こころの思い発表会」を実施するが、その具体的内容も決定した。(来賓、要約筆記等)
- ・ 11月5日(土)恒例の「ふるさと歴史ハイキング」を実施する。コースは「秋の滝之原を歩こう」(8.5km)。講師に門田亮三先生をお願いした。地域への告知は10月の地区回覧で行う。集合場所のフラワーランドには駐車場が無いためマックスバリューを借りる予定をしている。(小雨決行)
- ・ 9月17日(土)、私の一冊文庫が、「韓国本の読み聞かせの会」を開いた。一部心配された面があったが無事終了した。

<生活安全部会>

吉野生活安全部会長から、部会活動について別添資料に基き概ね次のような報告があった。

- ・ 平成23年度三重県総合防災訓練は、台風の接近により中止になった。
- ・ 普通救命講習会は消防署との調整の結果、来年3月24日(土)に実施する予定になった。
- ・ 8月・9月に青色回転灯装着車両による防犯パトロールを4回実施。巡回の結果は、いずれの回も異常はなかった。
- ・ 今後冬季に入るので、10月からは、毎月4回・時間帯を午後4時から5時に変更する。(子どもの下校時間帯で効果的)
- ・ 防犯パトロール用の車両をもう1台登録する予定をしている。

引き続き吉野部会長から、緊急時に対応する防災訓練・心構えについて参考になると思う新聞記事の紹介があった。(H. 23. 9. 13 朝日新聞)

その後意見交換があり、広岡住民交流部会長から当地区の学校の訓練の状況について、及び来年3月に記事にある群馬大学の片田教授の講演会があると情報が話された。

- ・ 桔梗が丘地区内では、10月～11月に3地区で防災訓練が予定されている。(4番町、8番町、3番町)
- ・ 行政側(名張市)でも積極的に取り組むよう運動していきたい。

<地域福祉部会>

梅本副会長(地域福祉部会長)から、今後の部会活動の予定について報告があった。

10月から民生委員が中心となり、高齢者の実態調査を開始する。対象は70

歳以上の一人暮らし世帯、75歳以上の夫婦のみの世帯、重度の障害者宅等、災害時要援護者として考えられる方々となる。この作業は各区長・自治会長と連携して取り組む方向で考えている。

(災害時要援護者登録シート、戸別訪問のお願いを持参する。)

10月の定例会で年末の友愛訪問の実施について検討することになっている。

6. その他

松村会計担当理事(事務局次長)から、平成23年8月末現在の協議会会計及び公民館会計の収支累計について、別添資料に基き概ね次のような報告があった。

協議会会計の収入は、利息539円の計上のみ、支出は広報費として「ききょう通信」印刷費40,425円、健康福祉費の体操会参加賞費30,000円、地域福祉費のいきいきサロン助成金36,300円があった。

公民館会計の主な収入は、使用料収入の320,073円その他、事業収入として夏期大学講座参加費142,000円を計上。主な支出は、備品として冷蔵庫、クローゼットを購入、その他は毎月恒例のものです。その他の項目は資料を参照いただきたいと述べた。

辻森会長から次の2項目の報告があった。

- ・ 「みえの防災大賞」に推薦しようと考えていた8番町自主防災隊から本年度は辞退したいとの申し出があったので、これを受け入れた。
- ・ 9月30日午後に愛知県碧南市から、地域づくりに関する視察が来る。会長と事務局で対応する。(名張市生涯学習室のスタッフも同行)

大垣副会長から、先日の定例自治連合会で消防団桔梗が丘班の田合氏より、団員募集の協力要請があり自治連合会で受け入れられたので、皆さんも団員確保についてご協力いただきたいと述べた。

小幡理事から、地域の環境保全に関する参考事項として次のような報告があった。

先日桔梗が丘西地区で「セアカゴケグモ」が見つかり、市役所に連絡した。これは毒グモなので、地域内で注意喚起をした。現在住民に被害は出ていない。


又最近西地区では猿が出たとの情報もある。今後注意していきたい。

以上で議事は終了した。

次回理事会は、平成23年10月16日(日)午前9時30分
場 所 桔梗が丘公民館 202号室

議長 辻森保蔵 

議事録署名人 竹原塔子 

議事録署名人 吉野孝司 

	副会長	副会長	総務委員長	書記
	